

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアスタディ I		ホテルマネジメント学科/ 1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
自己分析、職業調査、キャリアプランニングの方法を学ぶ。 プロフェッショナルな環境で必要とされる基本的なビジネスマナーを学び、信頼性と印象の向上を目指す。				
授業終了時の到達目標				
基本的なビジネスマナーの考え方や重要性を学び、社会人としての心構え、ビジネススキル・コミュニケーションスキルを習得する。 自分のキャリア目標を明確にし、職業選択のための知識とスキルを身につける。				
回	テーマ	内容		
1	学習内容と進め方について			
2	ビジネスマナー 挨拶・お辞儀	挨拶の重要性について		
3	ビジネスマナー 身だしなみ	第一印象や、身だしなみとおしゃれについて		
4	ライフプラン作成	卒業までの目標設定とアクション		
5	ライフプラン作成	卒業までの目標設定とアクション		
6	ライフプラン作成	卒業までの目標設定とアクション		
7	ライフプラン作成	卒業までの目標設定とアクション		
8	自己PR①	自身の強みについて		
9	自己PR②	自身の強みについて		
10	自己PR③	自身の強みについて		
11	志望動機①	就職志望先企業への志望動機		
12	志望動機②	就職志望先企業への志望動機		
13	志望動機③	就職志望先企業への志望動機		
14	前期まとめ	前期振り返り		
15	期末試験	前期末試験		
教科書・教材		評価基準		評価率
適宜資料配布		出席率 授業態度 期末試験	50.0% 30.0% 20.0%	授業では、スーツ着用

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアスタディ		ホテルマネジメント学科/ 2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
全体の構成として、①就職面接対策②一般的社会常識(ビジネスマナー)③基本的なPCスキルを学ぶ。講義を通して実践的な学習をするとともに、日本企業において即戦力となるようなスキルを身に付ける。				
授業終了時の到達目標				
①就職面接～入社後までの幅広い質問に対して、自ら考え即座に回答ができることができる。 ②名刺交換、企業での立ち居振る舞い、上限関係を意識した言葉使いや対応ができる。 ③社内メール、顧客メールなど基本的なPC定型業務ができる。				
回	テーマ	内 容		
1	就職・面接対策	自己分析、企業分析、日本企業に就職するにあたって基本的な理解(生活、給料、税金、ビザなど)		
2	就職・面接対策 PC教室	※エントリー締め切り確認※ 履歴書のブラッシュアップ、面接練習		
3	就職・面接対策 PC教室	※エントリー締め切り確認※ 履歴書のブラッシュアップ、面接練習		
4	一般的社会常識(ビジネスマナー)	企業名、部署名、役職など組織における名称について。内と外の関係における敬称を学ぶ。		
5	一般的社会常識(ビジネスマナー)	企業間のあいさつ、名刺交換、マナーなど一般的知識を学ぶ。		
6	一般的社会常識(実践)	ホテルやレストランにおける傾聴方法、メモの取り方、伝達の仕方など実践的な形で行う。		
7	就職・面接対策 PC教室	※エントリー締め切り確認※ 履歴書のブラッシュアップ、面接練習		
8	就職・面接対策 PC教室	※エントリー締め切り確認※ 履歴書のブラッシュアップ、面接練習		
9	就職・面接対策 PC教室	※エントリー締め切り確認※ 履歴書のブラッシュアップ、面接練習		
10	一般的社会常識(ビジネスマナー) PC教室	ホテルやレストランにおける顧客メール、社内メールの書き方&送り方(基本編)		
11	一般的社会常識(ビジネスマナー) PC教室	ホテルやレストランにおける顧客メール、社内メールの書き方&送り方(応用編)		
12	一般的社会常識(課題提出)	SDGS、ダイバーシティ、LGBTQなどを含めた日本企業の取り組みについて知る。		
13	一般的社会常識(課題提出)	SDGS、ダイバーシティ、LGBTQなどを含めた日本企業の取り組みについて知る。		
14	試験対策	社会貢献における自己の考えを相手に伝える。		
15	期末試験日(前期)	レポート作成(PDCAフォーマット)		
教科書・教材		評価基準		評価率
・しごとの日本語(メールの書き方編) ・しごとの日本語(ビジネスマナー編) ・Business japanese master text		出席率 授業態度(課題含む) 期末試験		50.0% 30.0% 20.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サービスコミュニケーション		ホテルマネジメント学科/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
<p>基本的なコミュニケーションスキルを身につけ、ホテルスタッフとしての適切な言葉遣いや姿勢を学びます。次に、職場でのチームワークを円滑にするために、報連相(報告・連絡・相談)の実践力を養います。また、異文化間のコミュニケーションに対応できる知識を深め、異なる文化を持つお客様や同僚との効果的なコミュニケーション方法を習得します。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>この授業を通じて、学生はホテル業界で必要とされるホスピタリティ精神を深く理解し、実際の業務に応用できる高度なコミュニケーション力を身につけることを目指します。</p>				
回	テーマ	内容		
1	ガイダンス & 自己紹介	講座の目的を説明し、学生が自己紹介を行う。		
2	自己紹介スキル	効果的な自己紹介の方法を学び、実践する。		
3	自己紹介の実践演習	実際に自己紹介を行いフィードバックを受ける。		
4	コミュニケーションの基本(Ⅰ)	丁寧な言葉遣いを中心に、サービス業で求められる基本スキルを学ぶ。		
5	コミュニケーションの基本(Ⅱ)	アクティブリスニングについて学習します。		
6	異文化間コミュニケーション(Ⅰ)	異なる文化背景を持つお客様との対応のポイントを学ぶ。		
7	異文化間コミュニケーション(Ⅱ)	ケーススタディを通じて、具体的な異文化対応のスキルを強化する。		
8	コミュニケーション障害とその克服	プロフェッショナルなコミュニケーション能力を身につけることで、上司・同僚・お客様との円滑な関係構築を目指します。		
9	ビジネスコミュニケーションの基本	サービス業におけるビジネスコミュニケーションの基本マナーを学ぶ。		
10	サービス業での対人スキル	接客の場面で必要な対応スキルや、相手に伝わる話し方を実践する。		
11	PREP法の基礎を学ぶ	PREP法(結論→理由→具体例→結論)を理解する。		
12	PREP法を実践する(基礎演習)	簡単なテーマを用いてPREP法で説明する練習を行う。		
13	PREP法を応用する(実践演習)	より実践的なテーマでPREP法を活用する演習を行う。		
14	総まとめ&期末テスト対策	全13回の講義の内容を総復習し、理解度を深める。実際のホテルの財務諸表を分析し、テストに向けた対策を行う。		
15	期末テスト	前期の期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度(課題含む) 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
セールス&マーケティング		ホテルマネジメント学科/2年	2025/前期	講義・実技
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
本講義では、ホテル・観光業界におけるマーケティングの基本的な考え方と実践的手法について学びます。マーケティングの4P(製品・価格・流通・プロモーション)をはじめ、ターゲット設定、ブランド戦略、デジタルマーケティング、顧客維持戦略などを体系的に理解し、ホテル業界での応用力を身につけることを目的としています。演習やグループワークを交えながら、実践的な企画力・分析力を育てます。				
授業終了時の到達目標				
この授業では、ホテルや観光業界におけるマーケティングの基本的な知識と考え方を理解し、自らの言葉で説明できる力を養います。受講を通じて、顧客のニーズを把握するための市場調査の方法や、商品・サービスを誰に・どのように届けるかという戦略的な視点を身につけることを目指します。また、ホテル業界特有の販売チャネルやプロモーション、口コミ対応などについても学び、実践に活かせる知識を習得します。さらに、演習やグループワークを通じて、自ら企画を立て、発表できる表現力や思考力を身につけることが本授業の達成目標です。				
回	テーマ	内容		
1	授業についてのガイダンス	授業の目的、進め方、評価方法について説明し、マーケティングの学習がホテル・観光業界においてなぜ重要かを概観します。マーケティングの基本概念や学習目標を明確にし、学習意欲を高める導入回です。		
2	マーケティングの基礎	マーケティングとは何か、マーケティングの定義や役割について学びます。ホテル業界におけるマーケティングの特徴や、マーケティングの4P(Product, Price, Place, Promotion)の全体像も解説します。		
3	市場調査と消費者行動の理解	市場調査の種類(定量調査・定性調査)とその手法、ホテル顧客の行動心理や購買プロセスを学びます。実際に簡易アンケートの設計や分析演習を通じて理解を深めます。		
4	ターゲットマーケティング	STP(セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング)の考え方を学び、ホテルの商品・サービスを適切に誰に、どのように届けるかを設計します。簡単なペルソナ設定ワークも行います。		
5	製品戦略(Product)	ホテルの商品(宿泊・サービス・体験)の設計について学びます。商品構成、サービスの差別化、パッケージ戦略など、顧客にとって魅力的な商品を企画する考え方を習得します。		
6	価格戦略(Price)	価格設定の基本的な考え方(原価・競合・価値ベース)、ホテル業界における価格変動戦略(ダイナミックプライシングなど)を学びます。価格と売上の関係もワークで体験します。		
7	流通戦略(Place)	ホテルの商品を「どこで、どうやって」顧客に届けるかについて学びます。OTA(Online Travel Agent)、自社予約サイト、旅行会社などの販売チャネルの違いや戦略を理解します。		
8	プロモーション戦略(Promotion)	ホテルの販促活動全般について学びます。広告、キャンペーン、SNS、口コミ、PRなど、多様なプロモーション手法の中から、目的に応じた手法を選ぶ力を養います。		
9	SWOT分析の基礎	マーケティング戦略を立てるために必要なSWOT分析(強み・弱み・機会・脅威)のやり方を学びます。実際のホテルや地域を題材にしたグループワークも行い、実践力を養います。		
10	デジタルマーケティング	インターネットやSNSを活用したデジタルマーケティングの基本を学びます。GoogleやInstagramなどの活用方法、WEB広告、SEOなど、現代のホテルマーケティングに欠かせない要素を取り上げます。		
11	ブランディングの基礎	ホテルブランドとは何か、ブランディングの基本と戦略を学びます。ロゴ、サービス体験、SNSの発信など、ブランドイメージの一貫性がどのように顧客に影響を与えるかを考察します。		
12	顧客ロイヤルティとリテンション戦略	リピーターやファンを増やすための「顧客ロイヤルティ」の考え方と、リテンション(顧客維持)の手法を学びます。メンバーシップ制度やDM施策、パーソナライズドサービスの事例も紹介します。		
13	レピュテーションマネジメント	ホテル業界における口コミ・レビュー・評価サイトへの対応の仕方や、評判管理の重要性について学びます。SNSやGoogleレビュー、OTAサイトへの対応力も強化します。		
14	前期まとめ&期末テスト対策	これまでの授業内容をまとめ、マーケティング戦略の全体像を再確認します。ワークや小テストを通じて、期末テストの準備を行います。自分なりの簡易マーケティングプランの発表も実施可能です。		
15	期末テスト	前期の学習内容を確認する筆記試験を実施します。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜配布		期末試験 授業態度 出席率	50.0% 25.0% 25.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・レストラン マネジメント		ホテルマネジメント学科/2年	2025/前期	講義・実技
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
このコースは、ホテルやレストランの経営に必要な基礎知識と実践スキルを学ぶことを目的としています。学生が実際の経営において直面する課題を理解し、解決する力を養います。 また、15回の授業を通じて、ホテル・レストラン経営における理論と実践の両方を学びます。前半は経営の基礎知識を学ぶ講義形式、後半は演習を中心とした実践的な内容で構成されています。				
授業終了時の到達目標				
最終的には、経営全体を俯瞰し、課題を分析し、解決策を提案できる能力を育成します。				
回	テーマ	内容		
1	授業についてのガイダンス& と経営基礎知識	授業全体の目的や評価方法、学習の進め方についてガイダンスを行います。その後、ホテル経営における「経営とは何か」「マネジメントの役割」など、基本的な経営概念を学びます。実務と関連づけながら、経営に対する関心を高める導入回です。		
2	お客様の満足度 (CS: Customer Satisfaction)	お客様満足度の定義や重要性について理解を深めます。ホテル業界におけるCSの指標、顧客満足度を向上させるための具体的な施策(アンケート活用・サービス改善など)について学び、CS向上とリピート率・収益の関係性を考察します。		
3	基本的な経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)	企業経営に不可欠な4つの経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)について解説し、それぞれがホテル運営においてどのように機能し、連携しているかを学びます。ケーススタディを交えて、資源配分の考え方や活用の工夫を探ります。		
4	財務管理の基礎	ホテル経営に必要な基本的な財務知識(売上・利益・コスト・損益分岐点など)を学びます。簡単な損益計算の演習を通じて、数字の意味を理解し、経営判断に役立つ視点を身につけます。		
5	スタッフマネジメントの基礎	ホテルにおけるスタッフマネジメント(人材育成・業務配分・モチベーション管理)について学びます。チーム運営の基礎やコミュニケーションの重要性に触れ、現場のマネージャーの役割について考察します。		
6	サービスの質を高める方法	ホテルサービスの品質向上について、サービスクオリティの定義や顧客の期待とのギャップ(GAPモデル)を学びます。良質なサービスを継続するためのチェックリストや改善サイクル(PDCA)も取り上げます。		
7	施設管理と安全対策	ホテル施設の維持管理、清掃、点検の基本と、安全対策(防災・防犯・衛生管理など)について学びます。現場の安全マニュアルや実際の事故例などを取り上げ、リスクマネジメントの重要性を理解します。		
8	フード&ビバレッジ管理	料飲部門の運営に必要な基礎知識(メニュー構成、原価率管理、衛生管理、在庫管理など)を学びます。売上向上のためのプロモーションやスタッフ教育の工夫についても考察します。		
9	経営演習① - 客室稼働率の最適化	「客室稼働率」と「ADR」「RevPAR」などの指標を用い、収益を最大化するための客室戦略を演習形式で学びます。需要予測や料金戦略、予約管理の重要性についても理解を深めます。		
10	経営演習② - レストラン経営の収支管理	レストラン運営における収支管理の演習を行います。原価管理、売上分析、収益改善のシミュレーションを通じて、料飲部門における経営視点を実践的に学びます。		
11	経営演習③ - チームマネジメント	ホテル内のチーム運営に関する課題をグループワーク形式で取り上げ、リーダーシップやチームビルディングの視点から解決策を検討します。ロールプレイも交えながら現場感覚を磨きます。		
12	経営演習④ - 総合シミュレーション①	これまで学んだ知識を活用して、ホテルの運営全体をシミュレーション形式で分析・判断していく演習の前半です。部門間の連携、優先順位の決定、改善案の立案を行います。		
13	経営演習⑤ - 総合シミュレーション②	シミュレーション後半として、収支予測、改善施策の提案、プレゼンテーションを行います。グループごとの経営判断を比較しながら、よりよいホテル運営の在り方を考えます。		
14	前期まとめ&期末テスト対策	これまでの授業内容のポイントを整理し、期末テストに向けた復習を行います。グループでの振り返りやクイズ形式での確認を通じて、知識の定着を図ります。		
15	期末テスト	講義全体の理解度を測るための筆記試験を実施します。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜配布		期末試験 授業態度 出席率	50.0% 25.0% 25.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテルサービス実習 I (前期)		ホテルマネジメント学科 /1年	2025/前期	外部実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(270時間)	必須	講師

授業の概要

授業でインプットしたことを実際の現場で実習しアウトプットを行い、知識やスキルを習得する。
その実習で得たことをレポートにまとめ、反省・改善点を見つけ発表する。
また、実習で学びたいスキルや知識についても事前に自ら考える。

授業終了時の到達目標

実際の現場での体験を通じて、自分の適性を確認できるようにする。
働くことの意味と厳しさ、楽しさを体感し、今後の就職活動につなげる。

回	テーマ	内容
1	サービス実習について	ガイダンス、ノート作成方法
2	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
3	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
4	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
5	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
6	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
7	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
8	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
9	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
10	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
11	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
12	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
13	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
14	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
15	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
16	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
17	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
18	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
19	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
20	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
21	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告
22	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告

23	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告		
24	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告		
25	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告		
26	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告		
27	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告		
28	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告		
29	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告		
30	サービス実習報告会	現場で学んだことの報告		
31	現場実習	現場で学んだことの報告		
32	現場実習	現場で学んだことの報告		
33	現場実習	現場で学んだことの報告		
34	現場実習	現場で学んだことの報告		
35	現場実習	現場で学んだことの報告		
36	現場実習	現場で学んだことの報告		
37	現場実習	現場で学んだことの報告		
38	現場実習	現場で学んだことの報告		
39	現場実習	現場で学んだことの報告		
40	現場実習	現場で学んだことの報告		
41	現場実習	現場で学んだことの報告		
42	現場実習	現場で学んだことの報告		
43	現場実習	現場で学んだことの報告		
44	現場実習	現場で学んだことの報告		
45	現場実習	現場で学んだことの報告		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 期末試験 現場で学んだことの報告	50.0% 30.0% 20.0%	火曜日：実習の報告会 金曜日：現場実習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテルサービス実習Ⅱ		ホテルマネジメント学科 /2年	2025/前期	講義・実技
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	10単位(360時間)	必須	講師
授業の概要				
ホテルのフロント業務に関する基本的な知識と実践的なスキルを学びます。チェックイン・チェックアウト業務を中心に業務の流れを理解し、実技を通じて実践力を養う。				
授業終了時の到達目標				
フロント業務の基本を理解し、実践的なスキルを身につけること。実務に必要な接客マナー、言葉遣いを強化する。				
回	テーマ	内容		
1	ガイダンス	授業の進め方の説明、フロントの役割と重要性、フロント業務フローの理解		
2	【基本】チェックイン	お迎え・レジ記入・説明・鍵受け渡し		
3	【基本】チェックイン	お迎え・レジ記入・説明・鍵受け渡し		
4	【基本】チェックイン	お迎え・レジ記入・説明・鍵受け渡し		
5	【基本】チェックイン	お迎え・レジ記入・説明・鍵受け渡し		
6	【応用】チェックイン	変更対応・アップグレード対応・外国人パスポート対応		
7	【応用】チェックイン	変更対応・アップグレード対応・外国人パスポート対応		
8	【応用】チェックイン	変更対応・アップグレード対応・外国人パスポート対応		
9	【応用】チェックイン	変更対応・アップグレード対応・外国人パスポート対応		
10	【応用】チェックイン	変更対応・アップグレード対応・外国人パスポート対応		
11	テスト	実技試験		
12	テスト	実技試験		
13	テスト	実技試験		
14	テスト	実技試験		
15	テスト	実技試験		
16	ガイダンス	ホテルのお仕事内容・職種・役割		
17	講義・演習	おもてなしの心・ホスピタリティー・マナー・ルールの違い		
18	サービス実習	トレンチ・お皿の持ち方		
19	サービス実習	カトラリーの扱い方		
20	サービス実習	グラス類の扱い方		
21	サービス実習	テーブルクロスの掛け方		

22	サービス実習	ウオーターピッチャーのの使い方		
23	サービス実習	ワインの注ぎ方・ワインの抜栓		
24	サービス実習	学科試験		
25	サービス実習	実技試験		
26	サービス実習	実技試験		
27	サービス実習	実技試験		
28	サービス実習	実技試験		
29	サービス実習	実技試験		
30	サービス実習	実技試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜配布		期末試験 授業態度 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル会計		ホテルマネジメント学科/2年	2025/前期	講義・実技
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
この授業では、ビジネスの基本である会計の基礎を学びます。特に企業が経営判断を行う際に必要不可欠な「財務三表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書)」の構造とその関係性を中心に、会計の仕組みを理解します。事例としてホテル業界を用い、現実的なビジネスシナリオに基づいた実践的な学びを提供しますが、内容は一般的な会計に通用する基礎知識となっています。				
授業終了時の到達目標				
ホテルは多様な収益源(宿泊、レストラン、イベントなど)を持ち、資産(建物、設備、家具など)や費用(人件費、光熱費、食材費など)をどのように管理し、経営の健全性を保つかが重要です。この授業を通じて、ホテル業界における特有の会計処理も学びながら、一般企業にも適用できる会計知識を習得します。				
回	テーマ	内容		
1	会計基礎授業ガイダンス/財務諸表	授業全体の目的・進め方を説明した後、ホテルビジネスにおける会計の意義や、経営判断に与える影響について概論を行います。		
2	損益計算書の基本構造(Ⅰ)	損益計算書(P/L)の基本的な構造と目的を学びます。売上高、売上原価、売上総利益など、上段部分の主要項目の意味を理解し、利益の出し方を解説します。		
3	損益計算書の基本構造(Ⅱ)	営業利益・経常利益・税引前当期純利益・当期純利益までの流れを理解します。各段階の利益の意味と経営判断への影響をホテル業界の事例を交えて解説します。		
4	損益計算書の基本構造(Ⅲ)	演習問題を通じて損益計算書の項目と数字のつながりを確認します。簡単なP/Lの作成を行い、実践的な理解を深めます。		
5	貸借対照表の基本構造(Ⅰ)	貸借対照表(B/S)の基本的な構造を学びます。資産・負債・純資産の3つの要素について、それぞれの定義と代表的な科目を理解します。		
6	貸借対照表の基本構造(Ⅱ)	流動資産・固定資産、流動負債・固定負債など、B/S内の分類とその意味を学びます。ホテルにおける具体的な資産と負債の例も紹介します。		
7	貸借対照表の基本構造(Ⅲ)	演習問題を使い、簡単な貸借対照表を作成しながら、資産・負債・純資産の関係性を実践的に理解します。バランスの取り方を重視します。		
8	キャッシュフロー計算書の基本構造(Ⅰ)	キャッシュフロー計算書(C/F)の意義と3つの区分(営業活動・投資活動・財務活動)について学びます。現金の流れを掴む重要性を理解します。		
9	キャッシュフロー計算書の基本構造(Ⅱ)	営業活動によるキャッシュフローに注目し、利益とキャッシュの違い、減価償却費の役割などを学びます。ホテル運営でのキャッシュの重要性に触れます。		
10	キャッシュフロー計算書の基本構造(Ⅲ)	投資活動および財務活動によるキャッシュフローを学びます。設備投資や資金調達・返済が企業キャッシュにどう影響するかを理解します。		
11	キャッシュフロー計算書の基本構造(Ⅳ)	C/F全体の流れをまとめ、演習問題を通じて理解を深めます。3つの区分を合わせてキャッシュの増減を分析する方法を学びます。		
12	財務諸表分析(Ⅰ)	財務諸表から経営状態を読み解く基本的な指標(収益性・安全性)を学びます。ホテル業界における代表的な分析指標(例: RevPAR、ADR、稼働率)との関連にも触れます。		
13	財務諸表分析(Ⅱ)	財務諸表を使った簡単なケーススタディを通して、実際の企業の経営状況を分析します。数字から見える経営の課題と改善策を考える力を養います。		
14	総まとめ・期末テスト対策	これまでの学習内容を総復習し、主要ポイントを確認します。演習や過去問題を使って、期末テストへの準備を行います。		
15	期末テスト	これまで学んだ内容の理解度を測る筆記試験を実施します。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜配布		期末試験 授業態度 出席率	50.0% 25.0% 25.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル観光概論		ホテルマネジメント学 科/1年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
国内と沖縄の観光産業について幅広く学習する。また、観光産業におけるホテル産業についても様々な視点より学習し、沖縄県内のホテルについての知識を高める。				
授業終了時の到達目標				
国内と沖縄の観光産業についての知識を幅広く習得し、沖縄県内の観光とホテルについて基本的な知識を学ぶことを目標とする。				
回	テーマ	内容		
1	ガイダンス	授業の目的と概要説明		
2	日本の観光産業	観光産業の構成要素		
3	日本の観光地(I)	観光地のケーススタディ		
4	日本の観光地(II)	観光地のケーススタディ		
5	日本の観光産業におけるホテルの位置づけ	ホテル業界の概要と観光産業との関係		
6	沖縄の観光産業	沖縄観光の特色		
7	沖縄産業におけるホテルの位置づけ	沖縄のホテル業界の概要		
8	ホテルについての基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ホテルの基本的な構造と分類 ホテルの基本的な分類(シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルなど) ホテルの運営形態(直営、フランチャイズ、マネジメント契約) ホテルの主要部門とその役割(ホテルの組織図など) 		
9	日本国内のホテル業界	<ul style="list-style-type: none"> 日本のホテル市場の現状と展望 日本のホテル市場の統計データ(客室稼働率) インバウンド需要とホテル業界への影響 		
10	沖縄県のホテル業界(I)	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県のホテル業界の現状 沖縄県のホテル市場の特徴(リゾートホテルの割合、宿泊施設の数) インバウンド観光と沖縄のホテル業界の関係 沖縄独自のホテルサービスと文化的な特徴 沖縄県のホテル業界の課題と対策 季節変動による稼働率の変動と対策 人手不足とスタッフの育成課題 地域密着型サービスと地域社会との連携 		
11	沖縄県のホテル業界(II)	ホテルのケーススタディ		
12	沖縄の観光地(I)	観光地のケーススタディ		
13	沖縄の観光地(II)	観光地のケーススタディ		
14	レビューとまとめ	これまでの授業内容の復習		
15	期末テスト			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
レストラン・宴会概論（前期）		ホテルマネジメント学科/ 1年	2025/前期	講義型授業
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	講師
授業の概要				
ホテルレストラン・宴会の仕事内容・基本接客用語・おもてなしの心・ホスピタリティー・マナー ホテルレストラン部門の組織・役割・基本的な英会話 食文化・各国料理の特徴。世界3大料理・レストラン形態と特徴 ホテルレストランにおける什器・備品・機材の名称。				
授業終了時の到達目標				
この授業を通じて、学生はホテル業界で必要とされるホスピタリティ精神を深く理解し、実際の業務に 応用できる高度なコミュニケーション力を身につけることを目指します。				
回	テーマ	内容		
1	ガイダンス & ホテルのお仕事	ホテルのお仕事内容・職種・役割		
2	ホテルのお仕事	ホテルのお仕事内容・職種・役割と制服		
3	おもてなし・ホスピタリティー	おもてなしの心・ホスピタリティー・マナー・ルールの違い		
4	接客の基本について	接客の基本（①身だしなみ ②態度・動作 ③言葉遣い） ホテルの組織図・世界3大料理・中国四大料理		
5	レストラン部門の組織図	接客の基本・レストランの組織図・世界3大スープ・世界各国代表スープ		
6	飲食業界（業態9種類）について	飲食店で人気の業態9種類（カフェ・ファーストフード・ダイニング・バイキング・ビュッフェ・その他）		
7	レストランにおける基本的な講義	世界3大珍味・飲食店でよく使う業界用語		
8	レストランにおける基本的な講義	日本の食文化・沖縄の朝食・世界各国の朝食		
9	レストランにおける基本的な講義	レストラン・宴会（料飲全般）の備品・機材の名称		
10	レストランにおける基本的な講義	レストランのカテゴリー・料理の知識①		
11	レストランにおける基本的な講義	レストランのカテゴリー・料理の知識②		
12	レストランにおける基本的な講義	これまでの復習		
13	レストランにおける基本的な講義	レストラン・宴会の什器・備品・機材・器材		
14	レストラン・宴会における基本的な知識全般	レストラン・宴会概論（まとめ）		
15	レストラン・宴会における基本的な知識全般	前期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
パワーポイント資料		出席率 授業態度（課題含む） 期末試験	20.0% 40.0% 40.0%	コミュニケーション能力・ 挨拶・積極性

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
外国語		ホテルマネジメント学科 /1年	2025/通年	アプリケーション/講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
日本語カフェは日本語(JLPT)で使用。7月のJLPT試験のN4、N3に共通して必要な知識を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・7月のJLPT受験に向けて、まずは日本語カフェN4、N3合格に合格。 ・発音(アクセント、イントネーション)などを矯正し、日本人が聞き取りやすい日本語を話せるようになる。 				
回	テーマ	内容		
1	JLPT対策	日本語カフェアプリ登録、使用方法のレクチャー		
2	JLPT対策	日本語カフェ使い方の練習		
3	JLPT対策	レベルチェックテスト実施		
4	JLPT対策	自己のレベル理解、受験するレベルを決定。		
5	JLPT対策日本語カフェ	N4コース 動画視聴(語彙・文法)90分/文字・語彙テスト45分 4400-101まで/漢字45分#1-#3		
6	JLPT対策	N4コース 動画視聴/ドリル 90分 会話トレーニング 90分		
7	JLPT対策	N4コース 動画視聴(語彙・文法)45分/文字・語彙テスト15分/漢字30分		
8	JLPT対策	N4コース 動画視聴(語彙・文法)45分/文字・語彙テスト15分/漢字30分		
9	JLPT対策	N4コース 動画視聴(会話)90分/聴解テスト60分/漢字30分		
10	JLPT対策	N4コース 動画視聴(会話)90分/聴解テスト60分/漢字30分		
11	JLPT対策	N4コース 動画視聴/ドリル 90分 会話トレーニング 90分		
12	JLPT対策	N4コース 動画視聴(会話)90分/聴解テスト60分/漢字30分		
13	JLPT対策	N4コース 動画視聴(会話)90分/聴解テスト60分/漢字30分		
14	期末試験対策	各自で苦手な所の復習、問題集活用		
15	期末試験	N4レベルテスト		
教科書・教材		評価基準		評価率
・日本語カフェアプリケーション		出席率 授業態度(ノート記入含む) 期末試験	50.0% 30.0% 20.0%	その他

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
試験対策Ⅰ		ホテルマネジメント学科 /1年	2025/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
サービス日本語では、日常会話に加えてホテルで実際に使用する語彙や言い回しなど会話中心の内容を行う。特に日本人が聞き取りやすい発音となるよう反復練習を通し、日本語でコミュニケーションをとることに対する苦手意識をなくす。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・発音(アクセント、イントネーション)などを矯正し、日本人が聞き取りやすい日本語を話せるようになる。 ・ビジネス会話(基本)を学びながら、あいさつや自己紹介、日本式の丁寧なお客様対応などができるようになる。 				
回	テーマ	内容		
1	レベルチェック(口頭試験)	出勤、退勤のあいさつ、入室のあいさつについて練習する。		
2	発音練習、会話(自己紹介)	大勢の前での自己紹介、および1対1での自己紹介をできるようになる。		
3	発音練習、あいさつ	相手によって言葉使いを変化させることができるようになる。		
4	会話、依頼	丁寧語、尊敬語、謙譲語の復習		
5	会話、あいづち、雑談力を磨く、漢字	宿泊においてお客様と必要な会話ができるようになる。(丁寧語、尊敬語、謙譲語)		
6	会話、あいづち、雑談力を磨く、漢字	レストランにおいてお客様と必要な会話ができるようになる。(丁寧語、尊敬語、謙譲語)		
7	会話、傾聴力をつける	宿泊においてお客様とアポイントの流れを理解し一人でできるようになる。		
8	会話、傾聴力をつける	レストランにおいてお客様とアポイントの流れを理解し一人でできるようになる。		
9	会話、電話(外線)	電話・レストラン電話の取り方、取次の練習をする。		
10	会話、電話(内線)	前回の復習および、社内と社外の両方の電話対応を学ぶ。		
11	ビジネス会話	同僚や上司への依頼の仕方を学ぶ。		
12	宿泊部門の会話	ホテル用語、C/IやC/Oの基本的な流れを学ぶ。		
13	レストランの会話	レストラン用語、お出迎え～注文の取り方～お見送りまでの流れを学ぶ。		
14	期末試験対策	各自で苦手な所の復習、会話トレーニング		
15	期末試験(口頭試験)	1人ずつ口頭で試験をする。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・オリジナル教材		出席率 授業態度(ノート記入含む) 期末試験	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
試験対策Ⅱ		ホテルマネジメント学科/ 2年	2025/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
<p>前期は、初中級レベルで習得が困難な文法ベスト5を集中的に学び、正しく使えるよう再度学びなおす。また日本語で会話コミュニケーションをとることに対する苦手意識をなくし、自ら考えた文章で「伝える力」を養っていく。</p> <p>語彙や漢字の習得においては、日本語カフェやプリントなどでアウトプットする機会を設ける。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・N4レベル以上の文法、語彙、漢字、読解、聴解の習得。(JLPTN4以上全員が合格目標) ・助詞、副詞も含めて正しく文章を作成することができる。 ・7月6日(日)のJLPT受験後、N4レベル以上の合格者50%以上。 				
回	テーマ	内容		
1	初中級向け復習	日本語学習者が習得困難な文法ベスト5の文型をおさらい。(みんなの日本語第1課～25課初級)		
2	文法①	動詞のて形(第14課)既習だが、学生が難しいと思う文法第一位を復習。		
3	文法②	あげますもらいますくれます(第24課)既習だが、学生が難しいと思う文法第二位を復習。		
4	文法③	普通形(第20課)既習だが、学生が難しいと思う文法第三位を復習。		
5	文法(復習テスト)/聴解	文法①～③の復習 + 聴解(N4過去問)		
6	会話トレーニング①	敬語、丁寧語、謙譲語 総まとめ クリアな発音やイントネーション、場面別会話		
7	会話トレーニング②	敬語、丁寧語、謙譲語 総まとめ クリアな発音やイントネーション、場面別会話		
8	会話トレーニング③	敬語、丁寧語、謙譲語 総まとめ クリアな発音やイントネーション、場面別会話		
9	文法④	名詞修飾(第22課)既習だが、学生が難しいと思う文法第四位を復習。		
10	文法⑤	の形/Vた形+V辞書とき(第23課)既習だが、学生が難しいと思う文法第五位を復習。		
11	文法(復習テスト)/聴解	文法④⑤の復習 + 聴解(N3過去問)		
12	会話トレーニング④	顧客や同僚との会話ロールプレイ①		
13	会話トレーニング⑤	顧客や同僚との会話ロールプレイ②		
14	期末試験(筆記)	作文		
15	期末試験(口頭試験)	1人ずつ口頭で試験をする。(ひらがな、カタカナ、漢字の読み、発音など)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの日本語(第1課～50課) ・イメージでわかる日本語の助詞、副詞 ・にほんご敬語トレーニング ・日本語総まとめN4～N2 ・日本語カフェ 		出席率 授業態度 期末試験	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
宿泊概論(前期)		ホテルマネジメント学科 /1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
<p>ホテル業界における基礎知識と実務スキルを学ぶ。 宿泊部門(フロントデスク、ドアマン、ベルマン、ハウスキーピングなど)に関する理解と国際儀礼について学び、ホテル業界で必要な知識とスキルを身につける。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>ホテルについて幅広く学び、実践に役立つ知識を習得する。 宿泊部門について学び、即戦力として活躍できる知識を養う。</p>				
回	テーマ	内容		
1	ガイダンス	学習内容と評価方法について		
2	ホテルの歴史・役割	過去から現在までのホテルの歴史と、社会的役割について		
3	ホテルの分類・形態	様々な種類のホテルとその形態について		
4	ホテルの心得①	ホテルへの期待値とホテルリエのスキルについて ホスピタリティについて		
5	ホテルの心得②	ホテルへの期待値とホテルリエのスキルについて ホスピタリティについて		
6	日本のホテル	日本国内にあるホテルについて調べ、理解を深める		
7	宿泊サービスの基本①	ホテルの予約から出発までの流れについて		
8	宿泊サービスの基本②	宿泊部門のセクションについて ホテルの専門用語		
9	宿泊部門 ベル・ドア	ベルマンとドアマンの仕事と役割		
10	宿泊部門 フロント・コンシェルジュ	フロントとコンシェルジュの仕事と役割		
11	宿泊部門 ハウスキーピング	ハウスキーピングの仕事と流れについて		
12	宿泊部門研究	コンシェルジュの主な仕事と一流ホテルのおもてなし		
13	国際儀礼 プロトコール	儀式や儀礼に関する国際基準(プロトコール)について		
14	前期まとめ	振り返り		
15	期末試験	前期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜資料配布		出席率 授業態度 期末試験	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報リテラシー I		ホテルマネジメント学科/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	講師
授業の概要				
<p>PC初心者 を対象に、キーボードの基本操作からブラインドタッチの習得まで を目指します。タイピング練習ソフトを活用しながら、基礎から段階的に練習し、最終的にブラインドタッチで文章を入力できるようになる ことを目的としています。</p> <p>授業は全15回で構成され、PC操作の基礎・ホームポジション・ブラインドタッチ・文章入力・タイピング速度向上 などを体系的に学習します。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・PCの基本操作ができる(電源の入れ方、マウス操作、キーボードの使い方) ・ホームポジションを意識して正しい指の配置でタイピングできる ・ひらがな・カタカナ・ローマ字入力をスムーズに行える ・ブラインドタッチ(キーボードを見ずに入力)を習得できる 				
回	テーマ	内容		
1	PCの基本操作とキーボードの仕組み	PCを基本的に操作できるようになる		
2	キーボードの基本とホームポジション	ホームポジションの指の動きを習得		
3	タイピング(文字・単語・文章)			
4	タイピング(文字・単語・文章)	https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html		
5	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
6	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
7	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
8	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
9	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
10	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
11	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
12	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
13	タイピング(文字・単語・文章)	https://typing.playgram.jp/ https://www.tokyo-shoseki.co.jp/kyouka/kou/joho/typing/typing/index.html https://keyboard-dojonet/		
14	前期授業の復習	第1回～第13回の総復習 重要ポイントの再確認		
15	期末テスト			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度(課題含む) 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	